

朝日生命 インターネットアンケート調査 「親の介護・認知症についての意識調査」 ～約半数が「自分の親はいつか認知症になると思う」と回答～ ～親の介護費用「まだ準備できていない」の回答多数！～

朝日生命保険相互会社（代表取締役社長：木村 博紀）は、親の介護・認知症についての意識調査を実施しました。

アンケート結果の主なポイント

☑ 親の認知症発症リスクについて、約半数が「いつか認知症になると思う」（P.2）。

- 親が認知症になったときの不安の内容は「誰かに迷惑をかけてしまうこと」が最多（P.3）。

☑ 親が認知症で介護が必要になった場合、7割弱が介護に携わる意向ありと回答（P.4）。

- 一方、約6割が自身の仕事への影響・変化について「大きな変化はないと思う」と回答（P.6）。

☑ 親の認知症介護にかかる費用について、約半数が「いくらかかるかわからない」（P.7）。

- 親に介護が必要になった際の対応は「親や親族と十分に話し合えていない」が約7割（P.8）。
- 親の介護費用は「準備する必要があると感じながらも準備できていない」が半数以上（P.9）。
- 介護費用の財源は「親の資産で賄う」が約4割で最多（P.10）。一方、認知症になった場合の資産凍結については「詳しくは知らない」「知らない」が8割以上（P.11）。

調査結果について

調査結果からは、多くの方が親御様の認知症になる可能性があると感じていること（P.2）や、親御様が認知症になり介護を必要とする状態になった場合には介護に携わることを想定している方が多いこと（P.4）、介護生活としては施設介護よりも在宅介護を想定する方が多いこと（P.5）などが明らかになりました。

一方、親御様の介護費用が「いくらかかるかわからない」方が約半数にのぼり（P.7）、親御様や親族の方との事前の話し合いや介護費用の準備が十分にできていない方が大半であること（P.8,9,12）、介護に携わることになってもしっかり自身の仕事への影響はあまり大きくないと捉えている方が多いこと（P.6）など、親御様の介護に備えるために知っておきたい知識・情報や経済的準備が十分ではない方が多い可能性が示唆されました。

認知症の予防・重症化防止には、早期発見、とりわけMCI(軽度認知障害)の段階での気づき、予防に向けた取り組みが重要ですが、MCIの認知度は2割に満たないことも示されています（P.13）。

介護経験の有無別にみると（P.7-9,11-13）、介護費用の準備、対応に関する親御様・親族との話し合いなどについて、経験のある方ほど着実に準備を進めている様子が見られます。

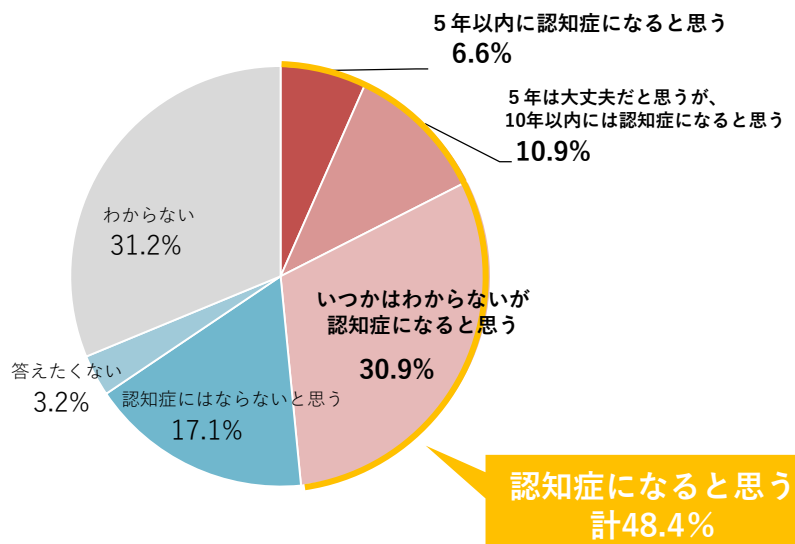
朝日生命は、多くの方の介護・老後への不安に寄り添い、安心をご提供すべく、今後も介護・認知症に関する情報発信や、お役に立つ商品・サービスをご提供してまいります。

アンケート結果詳細（一部抜粋）

Q.親御様の認知症発症リスクについてどう考えていますか？

A.「認知症になると思う」旨の回答は合計で48.4%にのぼった。

親の認知症発症リスクについて（n=2,304）



【年代別】

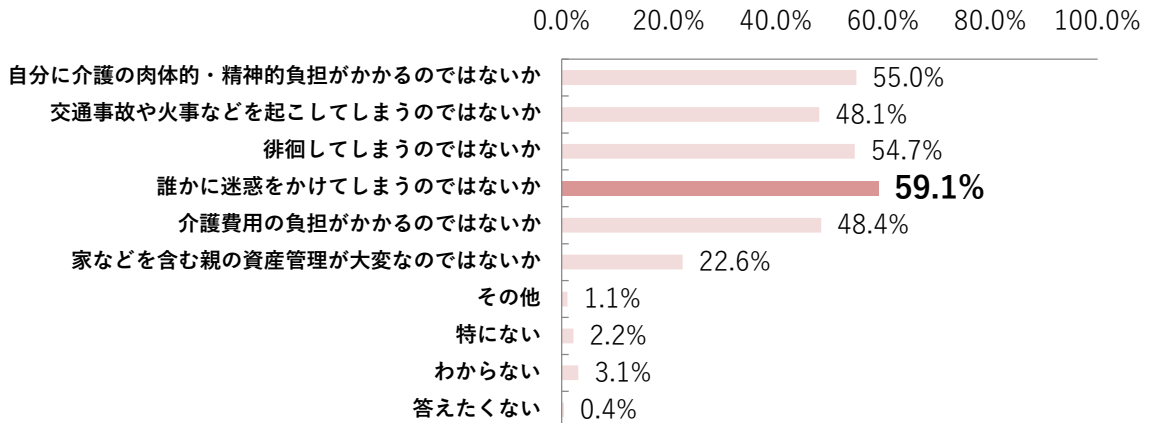
年代別でみると、50代では「5年以内に認知症になると思う」の回答率が10.9%にのぼった。

	n	5年以内に認知症になると思う	5年は大丈夫だと思うが、10年以内には認知症になると思う	いつかはわからないが認知症になると思う	認知症にはならないと思う	答えたくない	わからない
全体	2304	6.6%	10.9%	30.9%	17.1%	3.2%	31.2%
20代	331	3.9%	17.2%	32.9%	17.8%	1.5%	26.6%
30代	662	4.7%	13.0%	34.1%	17.7%	3.2%	27.3%
40代	653	5.4%	10.3%	31.9%	16.7%	2.1%	33.7%
50代	658	10.9%	6.4%	25.8%	16.6%	5.2%	35.1%

Q.もしも親御様が認知症になったら、どんなことが心配ですか？（複数回答）

A.「誰かに迷惑をかけてしまうのではないか」が最多で59.1%にのぼった。

親が認知症になったら心配だと思うこと (n=1471)



【年代別】

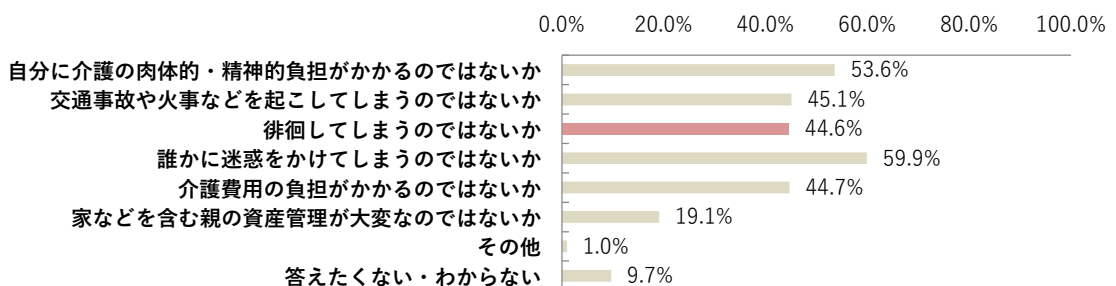
年代別でみると、30代・40代で各項目の回答率が高い傾向にある。

	n	自分に介護の肉体的・精神的負担がかかるのではないか	交通事故や火事などを起こしてしまうのではないか	徘徊してしまうのではないか	誰かに迷惑をかけてしまうのではないか	介護費用の負担がかかるのではないか	家などを含む親の資産管理が大変なのではないか	その他	特にない	わからない	答えたくない
全体	1471	55.0%	48.1%	54.7%	59.1%	48.4%	22.6%	1.1%	2.2%	3.1%	0.4%
20代	205	40.5%	47.3%	48.8%	44.4%	42.0%	15.6%	0.5%	1.5%	2.4%	1.0%
30代	427	55.3%	50.1%	58.1%	60.7%	50.8%	27.9%	1.6%	1.6%	1.6%	0.0%
40代	424	60.6%	51.9%	54.7%	63.9%	51.4%	23.6%	0.9%	2.6%	3.3%	0.2%
50代	415	56.1%	42.4%	54.0%	59.8%	46.0%	19.5%	1.0%	2.9%	4.6%	0.7%

【参考：前回（2019年）調査との比較】

40代・50代を対象とした前回調査と比べると、「徘徊してしまうのではないか」という項目が大幅に上昇。

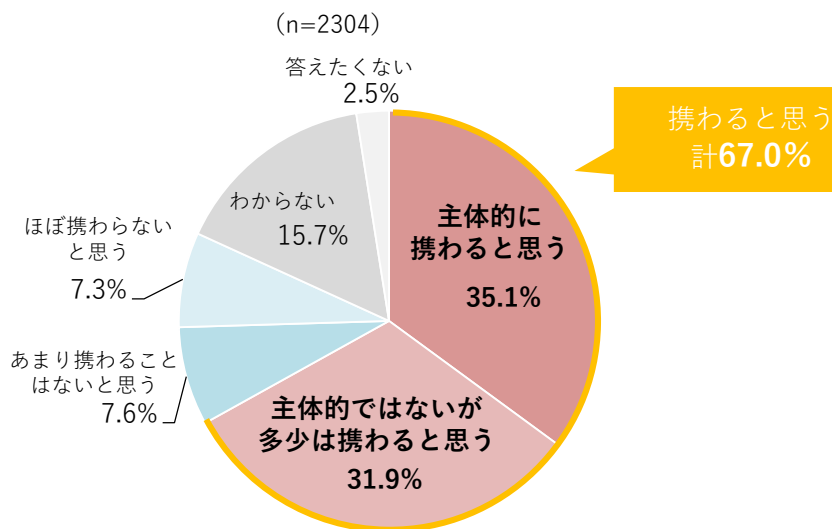
親が認知症になったら心配だと思うこと (n=987／調査対象は40・50代のみ)



Q.親御様が認知症になり介護が必要になった場合、ご自身の介護への携わり方について現時点でのお考えに最も近いものをお選びください。

A.「主体的に携わると思う」「多少は携わると思う」の回答が合計67.0%にのぼった。

親が認知症になり介護が必要になった場合の自身の介護への携わり方



【年代別】

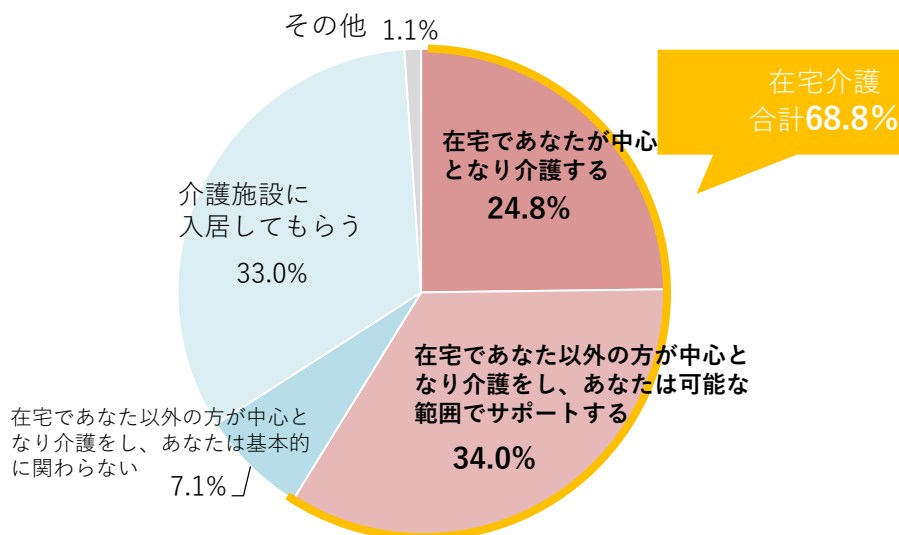
年代別にみると、30代以上で「主体的に携わると思う」の回答率が引きあがっている。

	n	主体的に携わると思う	主体的ではないが、多少は携わると思う	あまり携わることはないと思う	ほぼ携わらないと思う	わからない	答えたくない
全体	2304	35.1%	31.9%	7.6%	7.3%	15.7%	2.5%
20代	331	26.6%	38.7%	8.2%	6.9%	17.2%	2.4%
30代	662	35.2%	31.7%	8.3%	8.8%	13.6%	2.4%
40代	653	37.7%	29.2%	8.1%	6.6%	16.8%	1.5%
50代	658	36.6%	31.2%	6.1%	6.8%	15.8%	3.5%

Q.親御様が認知症になり介護が必要になった場合、どのような介護生活が望ましいと思いますか。

A.在宅介護の回答率が高く、合計で68.8%にのぼった。

親が認知症になり介護が必要になった場合、どのような介護生活が望ましいと思うか
(n=1886)



【年代別】

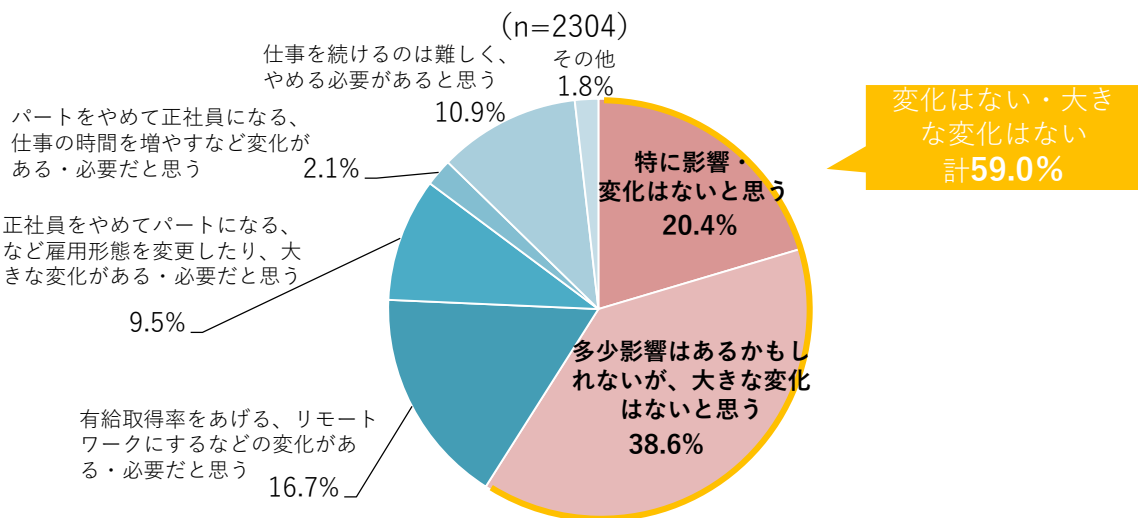
年代別にみると、40・50代で「介護施設に入居してもらう」の回答の割合が高まっている。

	n	在宅であなたが中心となり介護する	在宅であなた以外の方が中心となり介護をし、あなたは可能な範囲でサポートする	在宅であなた以外の方が中心となり介護をし、あなたは基本的に関わらない	介護施設に入居してもらう	その他
全体	1886	24.8%	34.0%	7.1%	33.0%	1.1%
20代	266	25.6%	38.3%	9.8%	26.3%	0.0%
30代	556	25.5%	35.1%	9.0%	29.1%	1.3%
40代	533	24.4%	33.0%	5.1%	36.6%	0.9%
50代	531	24.1%	31.6%	5.8%	36.9%	1.5%

Q.親御様が認知症になり介護が必要になった場合、ご自身のお仕事・働き方への影響はどの程度あると思いますか。

A.「特に影響・変化はないと思う」「大きな変化はないと思う」旨の回答をあわせて59.0%にのぼった。

親が認知症になり介護が必要になった場合、自身の仕事・働き方への影響



【年代別】

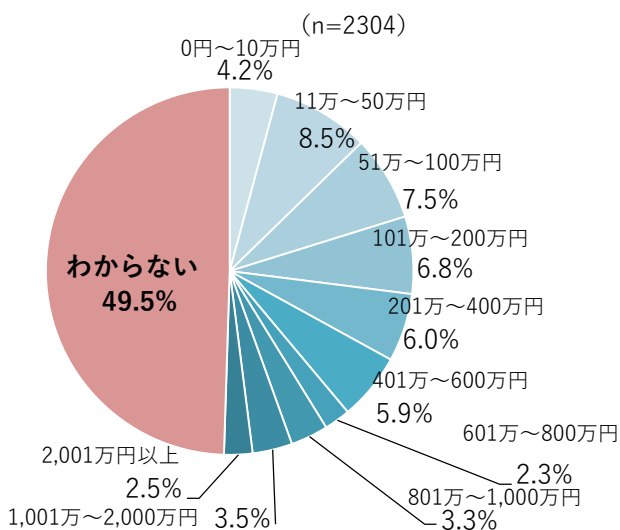
年代別にみると、「特に影響・変化はないと思う」「大きな変化はないと思う」旨の回答は50代で最も多い。

	n	特に影響・変化はないと思う	多少影響はあるかもしれないが、大きな変化はないと思う	有給取得率をあげる、リモートワークにするなどの変化がある・必要だと思う	正社員をやめてパートになる、など雇用形態を変更したり、大きな変化がある・必要だと思う	パートをやめて正社員になる、仕事の時間を増やすなど変化がある・必要だと思う	仕事を続けるのは難しく、やめる必要があると思う	その他
全体	2304	20.4%	38.6%	16.7%	9.5%	2.1%	10.9%	1.8%
20代	331	20.8%	36.3%	22.4%	10.0%	3.6%	6.3%	0.6%
30代	662	20.7%	37.5%	16.3%	12.2%	2.9%	9.1%	1.4%
40代	653	19.3%	37.1%	18.5%	8.6%	2.0%	12.9%	1.7%
50代	658	21.0%	42.6%	12.3%	7.6%	0.6%	12.9%	3.0%

Q. 今後もし親御様が認知症になった場合、介護費用は全部でどれくらい必要になるとお考えですか。

A. 「わからない」の回答が49.5%と最多。その他の選択金額にはばらつきが見られた。

親が認知症になった場合、介護費用は全部でどれくらい必要になるとお考えか



【年代別】

年代別にみると、年代が高いほど「わからない」回答率が高い。

	n	0円～10万円	11万円～50万円	51万円～100万円	101万円～200万円	201万円～400万円	401万円～600万円	601万円～800万円	801万円～1,000万円	1,001万円～2,000万円	2,001万円以上	わからない
全体	2304	4.2%	8.5%	7.5%	6.8%	6.0%	5.9%	2.3%	3.3%	3.5%	2.5%	49.5%
20代	331	3.0%	8.8%	11.5%	12.4%	7.3%	8.5%	1.8%	4.5%	2.4%	2.4%	37.5%
30代	662	3.8%	9.4%	7.7%	6.0%	6.9%	7.4%	3.0%	3.2%	3.8%	3.0%	45.8%
40代	653	4.3%	8.1%	7.7%	5.7%	4.7%	6.0%	2.5%	3.1%	4.6%	2.3%	51.1%
50代	658	5.2%	7.9%	5.0%	5.9%	5.6%	3.2%	1.5%	3.0%	2.7%	2.1%	57.8%

【介護経験有無】

経験有無別の「わからない」の回答率は、「なし」の人の56.5%に対し、「あり」の人は27.3%にとどまり、必要金額の理解度に差があることがわかる。

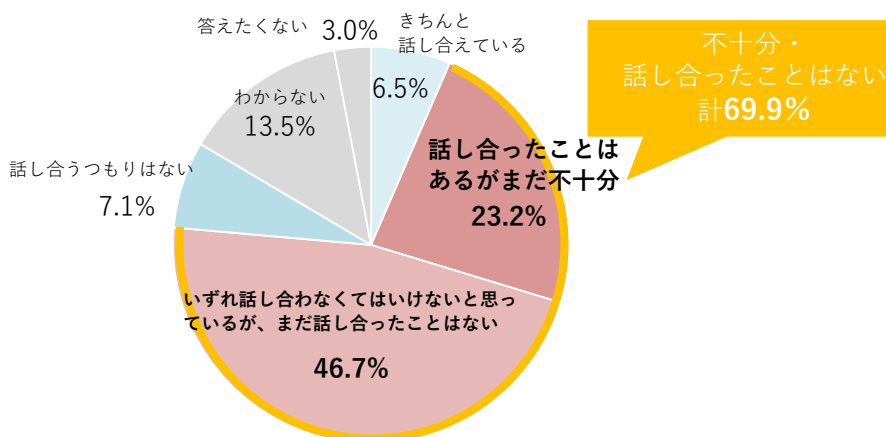
経験	n	0円～10万円	11万円～50万円	51万円～100万円	101万円～200万円	201万円～400万円	401万円～600万円	601万円～800万円	801万円～1,000万円	1,001万円～2,000万円	2,001万円以上	わからない
全体	2304	4.2%	8.5%	7.5%	6.8%	6.0%	5.9%	2.3%	3.3%	3.5%	2.5%	49.5%
あり	549	3.6%	8.9%	13.8%	11.1%	10.6%	8.9%	3.1%	5.3%	3.8%	3.5%	27.3%
なし	1755	4.4%	8.4%	5.5%	5.5%	4.6%	5.0%	2.0%	2.7%	3.4%	2.2%	56.5%

Q.将来の介護生活や介護費用の準備状況などについて、親や親族と話し合ったことはありますか。

A.「話し合ったことはあるが不十分」「まだ話し合ったことはない」合計で69.9%にのぼった。

将来の介護生活や介護費用の準備状況などについて親や親族と話し合ったことがあるか

(n=2304)



【年代別】

いずれの年代でも「不十分」「話し合ったことはない」の合計値は高止まりしており、年齢を重ねても話し合いが自然と進むわけではない様子うかがえる。

	n	きちんと話し合えている	話し合ったことはあるがまだ不十分	いずれ話し合わなくてはいけないと思っているが、まだ話し合ったことはない	話し合うつもりはない	わからない	答えたくない
全体	2304	6.5%	23.2%	46.7%	7.1%	13.5%	3.0%
20代	331	7.6%	27.2%	39.3%	10.6%	13.6%	1.8%
30代	662	7.3%	23.1%	47.1%	7.3%	13.0%	2.3%
40代	653	4.0%	19.9%	54.4%	5.5%	13.9%	2.3%
50代	658	7.6%	24.6%	42.4%	6.8%	13.4%	5.2%

【介護経験の有無別】

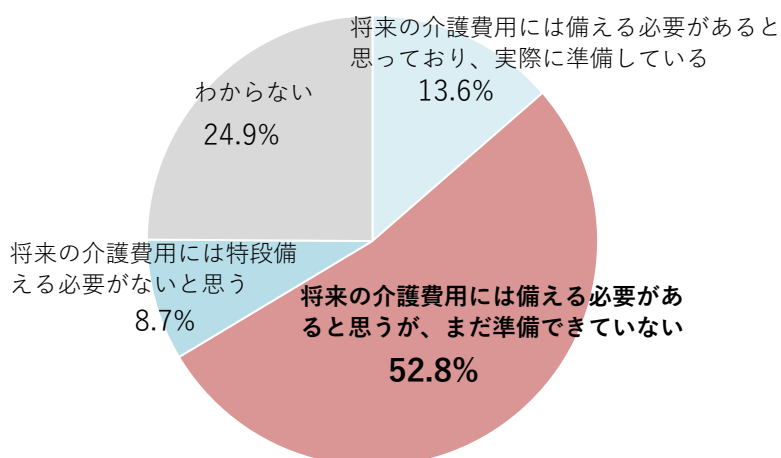
介護経験の有無別にみると、介護経験「あり」の人のほうが話し合いを進められている様子うかがえる。

経験	n	きちんと話し合えている	話し合ったことはあるがまだ不十分	いずれ話し合わなくてはいけないと思っているが、まだ話し合ったことはない	話し合うつもりはない	わからない	答えたくない
全体	2304	6.5%	23.2%	46.7%	7.1%	13.5%	3.0%
あり	549	14.2%	41.9%	31.7%	4.9%	4.9%	2.4%
なし	1755	4.0%	17.4%	51.4%	7.8%	16.1%	3.2%

Q. 今後もし親御様が認知症になった場合、介護費用に対する備えの状況・お考えについて最も近いものをお選びください。

A. 52.8%が「将来の介護費用には備える必要があると思うが、まだ準備できていない」と回答。

今後親が認知症になった場合の介護費用に対する備えの状況・考え (n=2304)



【年代別】

50代でも「実際に準備している」の回答は14.6%にとどまった。

	n	将来の介護費用には備える必要があると思っており、実際に準備している	将来の介護費用には備える必要があると思うが、まだ準備できていない	将来の介護費用には特段備える必要がないと思う	わからない
全体	2304	13.6%	52.8%	8.7%	24.9%
20代	331	19.3%	49.5%	7.6%	23.6%
30代	662	12.4%	55.3%	8.9%	23.4%
40代	653	11.0%	55.9%	8.4%	24.7%
50代	658	14.6%	48.9%	9.3%	27.2%

【介護経験の有無別】

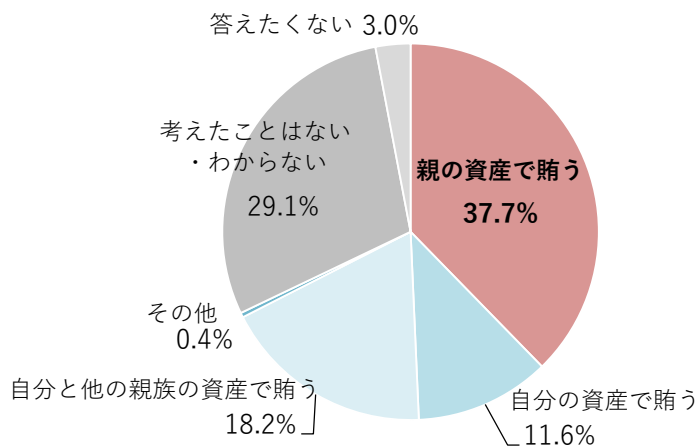
介護経験の有無別では「経験あり」の人のほうが明らかに準備が進んでいる。

経験	n	将来の介護費用には備える必要があると思っており、実際に準備している	将来の介護費用には備える必要があると思うが、まだ準備できていない	将来の介護費用には特段備える必要がないと思う	わからない
全体	2304	13.6%	52.8%	8.7%	24.9%
あり	549	31.1%	51.7%	6.4%	10.7%
なし	1755	8.1%	53.2%	9.4%	29.3%

Q. 今後もし親御様が認知症になった場合、介護費用に対するお考えについて最も近いものをお選びください。

A. 「親の資産で賄う」が最多で37.7%にのぼった。

今後親が認知症になった場合、介護費用に対する考え (n=2304)



【年代別】

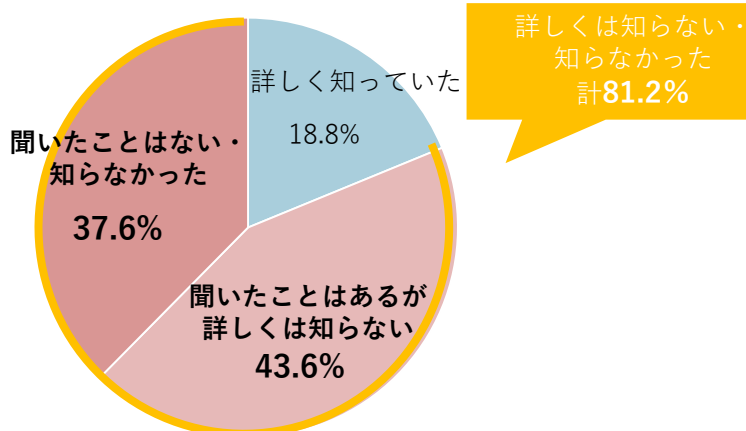
年代別にみると、年代が高いほど「親の資産で賄う」の回答率が高い。

	n	親の資産で賄う	自分の資産で賄う	自分と他の親族の資産で賄う	その他	考えたことはない・わからない	答えたくない
全体	2304	37.7%	11.6%	18.2%	0.4%	29.1%	3.0%
20代	331	30.2%	23.0%	15.1%	0.0%	29.3%	2.4%
30代	662	34.0%	12.5%	22.2%	0.2%	27.9%	3.2%
40代	653	37.7%	9.2%	18.7%	0.5%	31.5%	2.5%
50代	658	45.1%	7.3%	15.2%	0.9%	27.8%	3.6%

Q.認知症になると、資産が凍結され、預金の引き出しや不動産の売却などが困難になることがあります。ご存知でしたか。

A.「詳しくは知らない」「知らなかった」の回答が計81.2%となった。

認知症になった場合の資産凍結について知っているか (n=2304)



【年代別】

年代別でみると、20・30代で「詳しく知っていた」の回答率が比較的高い。

	n	詳しく知っていた	聞いたことはあるが詳しくは知らない	聞いたことはない・知らなかった
全体	2304	18.8%	43.6%	37.6%
20代	331	26.9%	35.6%	37.5%
30代	662	22.1%	34.4%	43.5%
40代	653	12.6%	47.9%	39.5%
50代	658	17.6%	52.6%	29.8%

【介護経験の有無別】

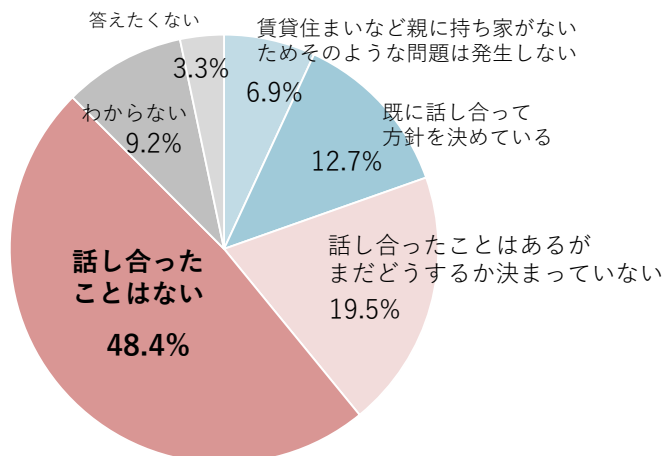
介護経験の有無別でみると、「経験あり」の人のほうが圧倒的に「詳しく知っていた」の回答率が高い。

経験	n	詳しく知っていた	聞いたことはあるが詳しくは知らない	聞いたことはない・知らなかった
全体	2304	18.8%	43.6%	37.6%
あり	549	45.0%	42.3%	12.8%
なし	1755	10.6%	44.0%	45.4%

Q.親御様が現在住んでいる住まいについて、いざというときの処分や相続など話し合ったことはありますか。

A.「話し合ったことはない」が最多で48.4%にのぼった。

親が現在住んでいる住まいについて
いざというときの処分や相続など話し合ったことがあるか (n=2304)



【年代別】

いずれの年代でも「話し合ったことはない」の回答が高い。

	n	賃貸住まいなど親に持ち家がないためそのような問題は発生しない	既に話し合っ方針を決めている	話し合ったことはあるがまだどうするか決まっていない	話し合ったことはない	わからない	答えたくない
全体	2304	6.9%	12.7%	19.5%	48.4%	9.2%	3.3%
20代	331	8.5%	20.2%	17.5%	41.4%	10.0%	2.4%
30代	662	7.3%	12.1%	18.9%	49.2%	9.1%	3.5%
40代	653	4.7%	10.9%	20.4%	54.7%	6.9%	2.5%
50代	658	7.9%	11.2%	20.4%	45.0%	11.1%	4.4%

【介護経験の有無別】

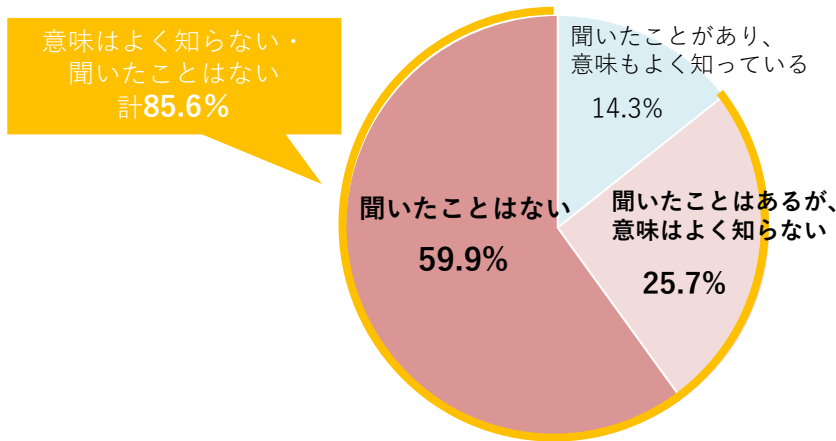
介護経験の有無別でみると、「経験あり」のほうが話し合いを進められている様子が見える。

経験	n	賃貸住まいなど親に持ち家がないためそのような問題は発生しない	既に話し合っ方針を決めている	話し合ったことはあるがまだどうするか決まっていない	話し合ったことはない	わからない	答えたくない
全体	2304	6.9%	12.7%	19.5%	48.4%	9.2%	3.3%
あり	549	13.1%	29.0%	27.1%	25.9%	3.5%	1.5%
なし	1755	5.0%	7.6%	17.2%	55.5%	10.9%	3.9%

Q. 「MCI（軽度認知障害）」について、最もあてはまるものをお選びください。

A. 「聞いたことはあるが、意味はよく知らない」「聞いたことはない」が合計で85.6%にのぼった。

「MCI（軽度認知障害）」について (n=2304)



【年代別】

年代別でみると、年代が上がるほど認知率は低い。

	n	聞いたことがあり、意味もよく知っている	聞いたことはあるが、意味はよく知らない	聞いたことはない
全体	2304	14.3%	25.7%	59.9%
20代	331	26.9%	26.3%	46.8%
30代	662	18.1%	25.2%	56.6%
40代	653	9.2%	25.1%	65.7%
50代	658	9.3%	26.6%	64.1%

【介護経験の有無別】

介護経験の有無別でみると、「経験あり」の人のほうが圧倒的に認知率が高い。

	n	聞いたことがあり、意味もよく知っている	聞いたことはあるが、意味はよく知らない	聞いたことはない
全体	2304	14.3%	25.7%	59.9%
ある	549	41.2%	29.1%	29.7%
ない	1755	5.9%	24.7%	69.4%

調査の詳細

「親の介護・認知症に関する意識調査」

調査期間：2022年9月30日（金）～10月5日（水）

調査方法：インターネット調査

調査エリア：全国

対象者：25～59歳の男女2,319名（男性1,160名・女性1,159名）

n	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳
2,319	333	335	331	330	330	330	330

朝日生命について

社名：朝日生命保険相互会社

本社所在地：東京都新宿区四谷 1 - 6 - 1

代表取締役：木村 博紀

HP：<https://www.asahi-life.co.jp/>

